

ボート・ウォータースポーツ用品賃貸借契約書

本契約は、「当事者」欄に記載された貸主と借主との間で締結されます。

1. 用具

貸主は、種類が_____である次の用具、_____（以下「本用具」）を貸し出します。本用具には、ボート、カヤック、SUPボード、カヌーその他のウォータースポーツ用品が含まれることがあります。詳しい説明、付属品、定員・最大積載能力、記録された状態は、「詳細」「物品」欄および写真の別紙に記載できます。

貸主は合意した活動に適した本用具を提供し、既知の安全上の制限を説明するとともに、必要な安全装備と使用上の指示を提供しなければなりません。借主は使用前に本用具を確認し、部品の欠品や不具合を報告するものとします。

2. 賃貸借期間および料金

本用具の賃貸借期間は_____、料金は_____です。引渡し、返却、保証金その他の個別の取決めは「詳細」欄に記載できます。借主は合意した時刻と場所に本用具を返却しなければなりません。安全上の理由により返却できない場合は速やかに貸主に連絡するものとします。

3. 適格性および使用を許可された人

借主は、使用者全員が選択した活動に安全に参加でき、年齢、免許、監督および操縦について適用される要件を守ることを確認しなければなりません。動力船は法令上必要な資格を持つ人だけが操縦できます。本用具は定められた積載能力や用途を超えて使用してはなりません。

借主は、適用される航行規則、掲示された制限、および貸主による合理的な安全上の指示に従うものとします。飲酒や薬物の影響下で本用具を使用し、転貸し、または無許可の人に操縦させてはなりません。

4. 天候、水域の状態および安全

水上の状況は急に変化することがあります。出発前に借主は、天気予報、流れ、風、視界、現地の危険要因および自身の能力を考慮しなければなりません。使用者は、法令または合理的な安全上の指示により求められる場合には救命胴衣や浮力補助具を着用し、その活動に必要な安全装備を携行しなければなりません。

借主は、合意された使用区域内にとどまり、状況が悪化した場合は帰着するか安全に上陸できる場所を探すものとします。使用が危険になった場合は中止しなければなりません。いずれの当事者も、返却期限を守るために自らの安全を危険にさらす義務を負いません。

5. 損傷、紛失および事故への対応

借主は本用具を合理的な注意をもって使用し、使用しないときは適切に保管・固定し、重大な損傷、紛失または故障を速やかに報告しなければなりません。緊急時には、救助機関への通報および人命の保護を物品の保護より優先します。当事者は事故の状況を記録し、法令上必要な報告に協力するものとします。

紛失や損傷の責任は、事実関係、過失、保険および適用法令に応じて判断されます。通常の摩耗や引渡前から存在した不具合は、借主に対する損害賠償請求の根拠になりません。貸主は、法令上他者に移すことのできない義務について引き続き責任を負います。

6. 悪天候等による中断

合意した活動を安全に実施できない場合、当事者は実行可能な代替案または早期返却について協議するものとします。キャンセル、返金または料金調整は、適用法令および適法に合意された条件に従います。料金を避けるためだけに危険な活動を行う必要はありません。

7. 返却および最終点検

借主は、本用具と提供されたすべての付属品を、通常の摩耗を除き合理的に良好な状態で返却しなければなりません。当事者は返却時に損傷、欠品、清潔さを確認するものとします。保証金からの控除には正当な理由と記録が必要です。

8. その他の条件

記入済みの「詳細」および別紙は本契約の一部を構成します。安全、消費者保護その他の適用される強行法規は、これと矛盾する条項に優先します。

詳細

登録番号 _____
最大人数 _____
説明 _____
付属品 _____
保証金 _____
状態に関するメモ _____
状態の写真 _____
特約事項 _____

当事者

貸主

氏名 _____
会社名 _____
法人番号 _____
インボイス登録番号 _____
住所 _____
メールアドレス _____
電話番号 _____

署名

日付

借主

氏名 _____

メールアドレス _____

電話番号 _____

住所 _____

生年月日 _____

本人確認書類の種類 _____

本人確認書類の番号 _____

会社名 _____

署名 _____

日付 _____